

通木 信もれ日

K o m o r e b i T s u s h i n

第55号

平成27年10月
つきだて花工房発
季刊誌

◎つきだて花工房は木もれ日のようなぬくもりと
やさしさを持ち続けるみなさまの公共施設を目指します。

身近だからこそ
気づかない存在もある
そんな存在の愛をしっかりと
気づきたい

夏の野は草の王国だ。人間の手が入らない場所は草の天下。朽ちた自らの屍を肥やしに、たまの通り雨を存分に吸い、強い日の光を満身に浴びてゲンゲン勢力範囲を拡げる。熾烈な勢力争いの果てに消え果てるものもいれば、僅かなすきまにたくましく根を張るものもいる。

立秋も過ぎて朝晩に涼風を感じるようになる、イネ科の草を中心に、子孫を残す準備を始める。草たちはこのために必死に成長を続けてきたのだ。少しでも高く、少しでも広く伸び上がり、タネをばらまいて子孫の勢力範囲を拡げるために。

そんな草たちの花の多くは地味な装い。例えばメヒシバ。この地域では「スモウトリグサ」のほうが通りがいかもしれない。イネ科らしく穂を出し、よく見てもどこが花なのかわからないような花を咲かせる。例えばスベリヒユ。咲くまでは園芸種のポーチュラカそっくりなのに、その花は小さく、黄色一色だ。

ゲンノシヨウコもそんな地味な草のひとつ。

葉はモミジのように深い切れ込みを持つ。草全体には毛が密生する。草丈は周りの状況にもよるが30~60cmどちらかと言えば横に伸びて広葉を拡げて日光を受ける作戦のように見受けられる。5弁の白い花は1cmほどと小さい。野原を見回してもそれと気がつかないかもしれない。そんな小さな花を一本の花茎から2輪咲かせる。このあたりで見かける花は白いが、関西では赤紫の花も多いら

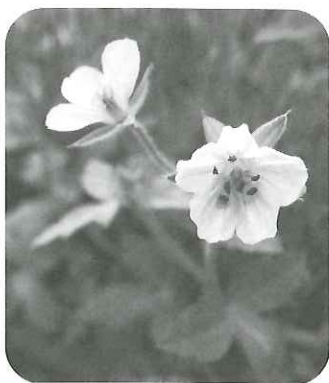
しい。おしべは 10本、めしべの先は5つに裂ける。

ゲンノシヨウコの名前はその薬効に由来する。草全体にタンニンを含み、民間薬として用いられてきた。下痢止め、胃腸薬としてたちまちのうちに効力を発揮するので「現の証拠」となったとか。イシャイラズ(医者いらず)、タチマチグサとも呼ばれるようだ。

花が終わると莢ができる。莢の断面は五角形、それぞれに一つづつ種子を抱く。種子が十分に充実すると莢は裂け、種子をばらまく。無数の種子をつけるメヒシバや、遠くまで種を飛ばすようなカタバミに比べ、勢力拡大策としてはあまり効率が悪いとは言えない気がする。これは一年草よりも生育期間が長い多年草ゆえかもしれない。

*

あんなにぎやかに鳴いていた虫の声も静かになった晩秋の野原。草たちの多くは黄色く、茶色く色を変え、来年の子孫たちのために自らの一生を終えてゆく。ゲンノシヨウコはどんな姿で寒い季節を迎えようとしているのだろうか。



お客様ノオト

このノートはたくさんのお客様の笑顔と思い出が詰まった
つぎだて花工房の宝石箱です



才能教育研究会様(福島市)
バイオリンの合宿でお越しになりました。ロビーにて
成果発表され、素敵な音色を聴かせていただきました。



上江洲様(東京都)
「立教セカンドステージ大学 社会貢献活動サポート
センター かがやきライフ研究会」の編集者の皆さん
です。上江洲様は木もれ日通信のファン。ありがとうございます。



高木様(川俣町)
以前、両家の顔合わせでご利用いただきました。今回、
かわいいお子様を連れてお食い初めされました。陽彩
(ひな)ちゃんすくすく育ってね。



美濃様(東京都)
保原町にお住まいの本田様よりご紹介いただき、東京・名古屋・静岡よりお越しいただきました。



宇佐美様(神奈川県)
川俣にご実家がありお墓参りにお越しにな
りました。陽奏(ひなた)君、偉吹(いぶき)君、隆楽(たから)君
かわいい〜



伊達地方体育協会様(伊達市・伊達郡)
協会役員として活躍された千葉様、松浦様、高橋様の送別会。
ご苦労様でした。



桑折町上町育成会(桑折町)
今年の夏は交流館もりもりでは「竹の流し
そうめん体験」が大人気。
この日は隣の桑折町上町育成会の皆さんが体験。苦勞の甲斐もあって、楽しく、お
いしい流しそうめんだったようです。



伊達スポーツ少年団(伊達市)
「おはようございます。よろしくお祈いします!」
元気のいい挨拶でスタート。さすがバレーボ
ールで鍛えたキビキビとした行動で、楽しい体験
になりました。これからもバレーボール、がんばっ
てくださいね!



絵手紙教室 絵との会話、楽しんでみませんか? 夢中になれるひととき。
講師: 和田恵秀さん(切り絵作家) 参加費: 1,000円
開催日: 11/9、12/7、1/18、2/8(全て月曜日) 開催時間: 10:00 ~ 12:00

今年7月、静岡県で痛ましい事故がありました。川遊びに訪れていた2組の家族のうち、一人の子供が動物よけの電気柵に触れて感電し、それを助けようとした大人が感電、男性2人が亡くなったほか、5人が重軽傷を負ったのです。

電気柵は地元の方が、植栽しているアジサイの花壇を守るために設置したものでしたが、自作のもので、コンセントから直接電源をとり、安全装置や危険を知らせる表示板などもない、違法なものでした。

さらに不幸なことに、この電気柵を作り、設置していた方はその後、事故の重大さに耐えきれずに自らの命を絶つてしまいました。事故でご家族を亡くされた方、関係者の方々の、心の傷の深さ、大きさは計り知れず、それを思うだけでいたたまれない気持ちになります。

違法な電気柵の設置は確かに間違った行為です。そのことを正当化するつもりは全くありません。それでも、電気柵を設置した、せざるを得なかった気持ちはよくわかります。大切に手入れをしている花や農作物を荒らされたら、それを防ぎたいと思うのは当然です。

田舎の暮らしには自然との見えない境界線があります。日本全体の問題である高齢化は、地方では都会以上に進行しています。今、熱心に田畑を守っているのはこの高齢者のみなさん。その子供、孫の世代は、残念ながら「守る」という意識が希薄になっていくと感じます。数年先には元がどんなだったか思い出せないような土地があちこちに溢れるかも知れません。そんな土地は里山ではなく「自然」の領域。見えない境界線を拡大され、住んでいる人間の領域を侵食します。もちろんその境界線は誰にも、野生動物にも見えないので、動物たちは「里山」の領域にどんどん入り込みつつあります。電気柵や鉄柵などはそんな「自然」と「里山」を隔てる、目に見える境界線とも言えるかも知れません。

かつては膨張する人口を支えるために、次々に自然を切り開き、農地や宅地を造っていった時代がありました。それが良くなかったとも言えるのかもしれませんが、今、そういった場所に住んでいる人にとって必要なのは、「自然」との上手な共存。住みづらくなったからといって土地を棄てて移住することはそう簡単にはできないではありません。

電気柵などで境界線を保ちながら暮らすのが、こういった場所に暮らす私たちにできることだと思います。

注意！
電気柵があります。



季節の一品 ワインゼリー



材料 (4人分)

A	赤ワイン	150cc	B	白ワイン	150cc
	水	150cc		水	150cc
	グラニュー糖	50g		グラニュー糖	50g
	板ゼラチン	1枚 (10g)		板ゼラチン	1枚 (10g)
	ブルーベリー	適量		ミント (飾り)	適量
	ホイップクリーム	適量			

- 赤ワインゼリー A の材料を鍋に入れ火にかける。沸騰直前に火を止め、水でもどした板ゼラチン、ブルーベリーを加え氷水で冷やし粗熱を取る。(冷え過ぎると固まってしまうので注意)
- 白ワイン B も同様に作る
- グラスに B の白ワインゼリー、A の赤ワインゼリーを入れ冷やし固めると二層になる。
- 冷めたゼリーにミントをのせて出来上がり。

厨房のイチオシ!

9月からの秋のお膳はきのこをメインとして、鮭や根菜など、秋ならではの食材をふんだんに使用しております。その中から厨房おすすめの3品をご紹介します。

秋鮭の茸グラタンはオリミキ茸などたくさんの茸、秋鮭を自家製ホワイトソースと合せた、相性バツグンの一品。

伊達鶏の揚げ出しつくねは、伊達鶏挽肉に椎茸、長芋を加えて湯葉巻きにし、揚げたてアツアツをうま出汁に浸してお召し上がりいただけます。

秋刀魚つまみれ鍋は肌寒く感じるこの時期にぴったり。白菜、水菜等の野菜と秋刀魚つまみの旨味とふわふわの食感をお楽しみ下さい。

月替りの釜飯や、ご予算に応じて松茸茶碗蒸しもご準備しております。

花工房の誕生日を祝って
アニバーサリーコンサート開催

2台のヴァイオリン、そしてヴァイオラとチェロ。それぞれの楽器を携えた演奏者が拍手とともに席に着き、音程を確認。アイコンタクトをとりながら一斉に弦の上に弓を滑らせ、クライスラーの「愛の喜び」でアニバーサリーコンサートは幕を開けました。

交響楽団からお借りしたというおもちゃの笛や太鼓などを、お客様やスタッフなども演奏しました。

また、今回は弦楽四重奏が中心となり、弓を使った奏法だけでなくピチカートという、指で弦を弾いて奏でる曲もあり、弦特有の柔らかい音色を楽しみました。もちろんいつものようにチェンバロも登場。なかなか聴く機会も、まして実物を目にする機会もほとんどないこの楽器を楽しむことができます。このコンサートのも魅力でもあります。コンサート終了後はチェンバロを取り囲んで音の出る仕組みを解説してもらう人もたくさんいました。

力を合わせて
コスモス街道作り

ひとこころ盛んだった「花いっぱい運動」がいつの間にか下火になり、花工房への道もちょっと寂しくなったように感じる今日この頃。お客様からも「花が少なくなつたね」とのお言葉。ならば自分たち花を植えようということ、



「コスモス街道作り」と称して、糠田地区や下手渡地区の方のご協力を仰ぎ、7月に種まきをしました。この号が出る頃にはきれいなコスモスが見られるはず!



日々の暮らしにハーブの香りを〜ハーブ教室・今後の予定
講師：瀧田 勉先生 (ハーブとスローライフの研究者)
参加費：1,800円 (材料費・税込)

11月30日(月)「ハーブガーデニング・アレンジ編」シクラメンとハーブの寄せ植え苔玉作り
12月21日(月)「クリスマスハーブ料理」丸焼きハーブチキンと野菜の丸焼き
1月25日(月)「ハーブな節分」そば粉のクレープ・豆とハーブのサラダ

晩秋に贈る小さな朗読会 #14

「なよ竹のかぐや姫」(原作：竹取物語 構成：島岡安芸和)
 「かぐやのかご」(塩野米松 作・佼成出版社 刊)

「天を目指す竹のように一まっすぐ、あるがままに」
 竹にちなんだ物語2題を、俳優・島岡安芸和氏が
 チェロとピアノに乗せて朗読します。
 凍える冬を前に、心に温かな灯がともる
 ひとときを。

【キャスト】

朗読 島岡安芸和
 かぐや姫 岸本真依
 ボーカル 濱平奈津美
 音楽 古後公隆
 演奏 チェロ：古後公隆 ピアノ：日ノ下慶二
 ステージング 松永さち代

【オープニングパフォーマンス】

「三コ」(斎藤隆介 作・福音館書店 刊) つきだて花工房リーディングアラウドの会



【とき】

平成27年11月17日(火)
 (1回目)午後3時開場 午後4時開演
 (2回目)午後6時30分開場 午後7時開演

※1回目の公演の際、福島駅西口発着の無料送迎バスを運行いたします(予約制)。

【ところ】

つきだて花工房ロビー

【料金】

前売り1,000円 当日券1,500円(全席自由)

主催 一般社団法人つきだて振興公社 共催 伊達市月館総合支所

新春初笑い!
「花工房」
新春招福寄席!

つきだて花工房初の企画!
 守安功・雅子さんご夫妻が楽しいトークと共にお届けする、心安らぐアイルランド音楽の演奏と、古典から新作までこなす新進気鋭の落語家・三遊亭わん丈さんの落語がコラボ。笑顔で福の神を迎えましょう。

日時：新年1月23日(土)午後3時
 出演：守安功(フルート、リコーダー)他/守安雅子(アイリッシュ・ハープ、打楽器他)/三遊亭わん丈(落語)
 料金：2,500円(全席自由)

公開打ち上げも開催!
 寄席の終了後、出演者と一緒にお料理や飲物を楽しむ会を開催します。ぜひご参加下さい!(別料金となります。)



御代田バイパス開通
 この7月に、月館町を通る国道349号線御代田バイパスが完成しました。今まで大型車のすれ違いが困難だった、狭い月館の町中や御代田の川沿いの区間ををバイパスする広い道路になりました。

福島県の旅行券使えます
 福島県が発行した、県内の宿泊施設でお得に使える「福が満開、福のしま。」旅行券を花工房でもお使いいただけます。利用期限は購入日から来年2月末のご宿泊までとなります。運良く手に入れることができた方は忘れずにお使い下さい。

お便りから
 ◆いろいろなイベントの情報は教えていただけると参加したくなります。これからも教えてください。
 今年のももの里マラソン前日は満室で宿泊できず残念でした。
 <郡山市 Y・N様>

◆印象に残った記事は「自然・天然是安全か?」です。私は外食関係の仕事をしています。改めて再確認しました。全くその通りです。「木もれ日通信」は我が家の保存版です。写真が全て白黒というのが残念です。
 <伊達市 K・W様>

木もれ日通信ではみなさまからのお便りを随時募集しております。郵便またはメールでも受け付けております。ぜひお寄せ下さいませ。


木もれび55号プレゼント
おいしい月館の新米
 3名様にプレゼント



ご希望の方は官製はがきに住所、氏名、電話番号、年齢と木もれ日通信55号で印象に残った記事および感想をご記入の上、プレゼント応募券を貼ってつきだて花工房までお送り下さい。平成27年12月25日の消印まで有効です。なお、ご記入頂いた個人情報につきましては花工房が責任を持って管理・保管し、当館のご案内をお送りするほか、サービス向上のために利用させて頂きます。

木もれ日通信54号プレゼント当選者
 東京都 沖倉美枝 様

編集後記
 この号が出る頃は秋もたけなわ、次の56号は寒さ厳しい頃になるはず。木もれ日通信を年4回発行に戻してから本当に一年が早い。
 <つきはな>

この季節恋しくなるのが郷土料理のざくざく。食べたいな。月館の郷土料理はだんご汁?芋煮や鍋もいいですね。
 <幸>

朝晩めっきり寒くなり、こたつとひと肌が悪しい季節になりました。
 <あか>

月館町を通る国道349号線にバイパス道路が開通し、トンネルを抜けると花工房が随分と近くなったような感じがします。
 <厚>

※休館日
 10/20, 11/17, 12/1, H28/1/19 (全て火曜日)

10/27(火) 11/12(木)
 11/26(木) 12/11(金)
 12/25(金) 1/10(日)



月の明かりで疲れた心を癒したい。
 いますぐカレンダーにチェック!!

木もれ日通信55号
 読者プレゼント
 応募券